

【両面提出】  
**<例>労働者「有給 三郎」: 10月末までは「時給制」→11月以降「月給制」に賃金形態が変更になった場合  
 (時給額が変更になった場合も同様)**

労働者氏名		有給 三郎		雇用保険被保険者番号		1234 - 123456 - 1		↓過去の申請と重複した期間の申請はできません。	
1	算定基礎	(1)賃金形態	(2)通常の賃金額	(3)1ヶ月の所定労働日数	(4)1日の所定労働時間	(5)日額換算賃金額	(6)時間額換算額 (5)÷(4)	有給休暇の休暇付与実績 令和2年10月1日～12月31日まで	
	支給申請額	(9)日額換算賃金額 (調整後)	(10)合計日数総額 (7)×(9)					(7) 9 日	(8) 4 時間
		対象労働者の賃金形態で分けて記載。 対象労働者は「有給 三郎」のため、 (14)対象労働者数計は「1人」となる。						賃金額と取得した休暇の期間を対応させて記載。 <例> 上段は10月末までの休暇(時給制のままの金額) 下段は11月以降の休暇(月給制に移行したあとの金額)	
労働者氏名		有給 三郎		雇用保険被保険者番号		1234 - 1		↓過去の申請と重複した期間の申請はできません。	
2	算定基礎	(1)賃金形態	(2)通常の賃金額	(3)1ヶ月の所定労働日数	(4)1日の所定労働時間	(5)日額換算賃金額	(6)時間額換算額 (5)÷(4)	有給休暇の休暇付与実績 令和2年10月1日～12月31日まで	
	支給申請額	(9)日額換算賃金額 (調整後)	(10)合計日数総額 (7)×(9)	(11)合計時間総額 (6)×(8)			(12)支払賃金相当額 (10)+(11)	(13)うち加算相当額 (5)が8,370円を上回る場合	
		対象労働者の賃金形態で分けて記載。 対象労働者は「有給 三郎」のため、 (14)対象労働者数計は「1人」となる。						賃金額と取得した休暇の期間を対応させて記載。 <例> 上段は10月末までの休暇(時給制のままの金額) 下段は11月以降の休暇(月給制に移行したあとの金額)	
労働者氏名		有給 三郎		雇用保険被保険者番号		1234 - 1		↓過去の申請と重複した期間の申請はできません。	
3	算定基礎	(1)賃金形態	(2)通常の賃金額	(3)1ヶ月の所定労働日数	(4)1日の所定労働時間	(5)日額換算賃金額	(6)時間額換算額 (5)÷(4)	有給休暇の休暇付与実績 令和2年10月1日～12月31日まで	
	支給申請額	(9)日額換算賃金額 (調整後)	(10)合計日数総額 (7)×(9)	(11)合計時間総額 (6)×(8)			(12)支払賃金相当額 (10)+(11)	(13)うち加算相当額 (5)が8,370円を上回る場合	
		対象労働者の賃金形態で分けて記載。 対象労働者は「有給 三郎」のため、 (14)対象労働者数計は「1人」となる。						賃金額と取得した休暇の期間を対応させて記載。 <例> 上段は10月末までの休暇(時給制のままの金額) 下段は11月以降の休暇(月給制に移行したあとの金額)	
(14)対象労働者数計		1 人		(15)有給休暇の休暇付与実績日数(7)の合計	14 日		(16)有給休暇の休暇付与実績時間数(8)の合計	8 時間	
(17)支給申請額(12)の合計		154,340 円		(18)うち加算相当額(13)合計	33,150 円				

※ 対象労働者が4人以上の場合は、本様式を追加提出してください。

申請した労働者について、特定求職者雇用開発助成金等、他の助成金について受給・申請(予定含む)している(どちらかに○つけてください)。  
 はい (「1. はい」の場合は)助成金名称及び該当する対象労働者一覧の番号を記載ください。  
 いいえ 助成金名( )  
 対象労働者番号( )